

一般質問



藤田正道
(大分市)

当事者に寄り添った 多子世帯支援を

3年前に次女が結婚し、その翌年5月に長男が、昨年6月には長女と二男が双子で誕生し、今年の1月まで我が家で年子十双子と三世代同居生活を約半年過ごしてきました。

双子の退院には、チャイルドシートを3台乗せるため3列シートの車への買換えが必要になり、退院後はママを中心にパパと双方の両親がそれぞれの仕事や都合を調整しながら、朝と夜間は3人以上、日中も最低でも2人以上の体制を確保。それでも双子は昼夜を問わず授乳、ミルク、オムツ交換が必要のため、特に娘は睡眠不足とストレスで心身ともに限界に達し、パニックや無気力など育児ができない状態に何度か陥り、私たちも睡眠不足の日々が続きました。ミルク2人分、オムツ3人分の消費量も半端なく、毎日のように買い出しに行き、可燃ごみの日は一度では持ち出せない量の指定ゴミ袋が必要でした。

この間、大分市の「こともルーム」や多胎児親子の交流の場である「かるがもひろば」に私も孫とともに参加し、パパ、ママ、保育園係者と直接話す機会を得ました。子育て世帯、特に双子、三つ子、年子といった多子世帯は、育児に忙殺され、必要な支援情報の入手や相談窓口に出かける余裕もなく、声を上げることもできないため、当事者であるママさん達のオンラインコミュニティ「大分のママ集まれ！多胎児ママサークル」の皆さんが一昨年アンケート調査を行い、その結果を集約し、多胎児世帯の代表的な困りごとに対する対策を県や市町村の施策に反映して欲しいと提案しています。

これに答え、県もあつたか。はーと駐車場の利用期間延長やSNSを活用した情報発信、経験者による訪問相談など、支援強化に取り組んでいます。多子世帯にとつての最大の課題は、双子や三つ子、年子など乳幼児が複数いる場合でも「保育の必要性」の認定基準に適合せず、保育園に預けられないことです。そこで、再質問では、国に働きかけ、市町村と連携し県として率先して認定するよう求めました。部長の「市町村と協議しながら国に課題提起していきたい」との答弁とともに、知事からも「子育て満足度日本

一般質問



平岩純子
(大分市)

最後の質問は 女性支援・教育・ 有機栽培……

一の大分県として、直ちに作業を始め国に持つていきたい。」と前向きな答弁をいただきました。現在、3歳未満の乳幼児を何人育てていても、そのことをもって保育園に入園させることができませんが、大分県の全国に先駆けた対応に期待しています。

今回は、これまでずっとこだわり訴えてきたことを整理して質問しました。

女性活躍推進はすべての人の 人権につながるもの

コロナ禍で今まで見えなかった様々な女性に対する差別が明るみになりました。DVも日本中で増加し、19年連続最高値が更新され、もともとあった問題が再認識されたと言えます。

県では、DVや性暴力を許さず、被害者が子育てと生計を立てられるように、そして女性が自立して生活できるように資格

取得や就労支援、福祉資金の貸し付け、企業への啓発も積極的に取り組んでいます。しかし、女性の置かれている困難はすぐに解決しません。「どうして女性ばかりを支援するのだ。」と言われる方がいます。それは女性に関する分野だけがこれまで「福祉」の対象にならずにきたからです。

首都圏では、若年女性を支援している団体やシエールターへの攻撃も出てきて運営に圧力がかけられています。これはとても危険な兆候です。

社会全体に性別役割分担意識などが根強く残っていますが、それを粘り強く払しょくし、女性も男性もLGBTQの人も誰もが安心して暮らせる、人権が守られる大分県になつてほしいと切に願っています。

大分空港へのストリート ピアノ設置と文化の振興

外国の駅や空港で見ず知らずの人がピアノの蓋を開け弾き始める。その調べを聞きかう人が耳を傾ける。そんな番組をご覧になつた方も多いと思います。

アルゲリッツ音楽祭が続いている大分県で空港にストリートピアノが設置されると、その場に居合わせた見知らぬ人の交流を促し、心を豊かにし、公共空間への市民の愛着や

魅力を向上させるのではないかと考えてきました。

大分空港でも、これまでフルートやチェロによる演奏会を行つてきたそうです。ピアノについても検討を行つてきましたが、円滑な施設運営の中でピアノを設置するスペースをどう確保するかが課題のようです。

芸術は、一部の人が楽しむものではなく、もっと多くの人が親しみ、生活に身近なものになれば県民の文化への愛着が生まれ、文化振興につながると思います。一つの日か宇宙港となる大分空港にストリートピアノが設置されることを夢見ています。

その他、学校にゆとりを取り戻す豊かな学びについて、爽風館高校の職員配置の充実・待たなしの性教育の重要性・保育士の待遇改善の必要性・食する人を幸せにしてくれる有機野菜の振興について尋ねました。全文はHPに掲載しています。

